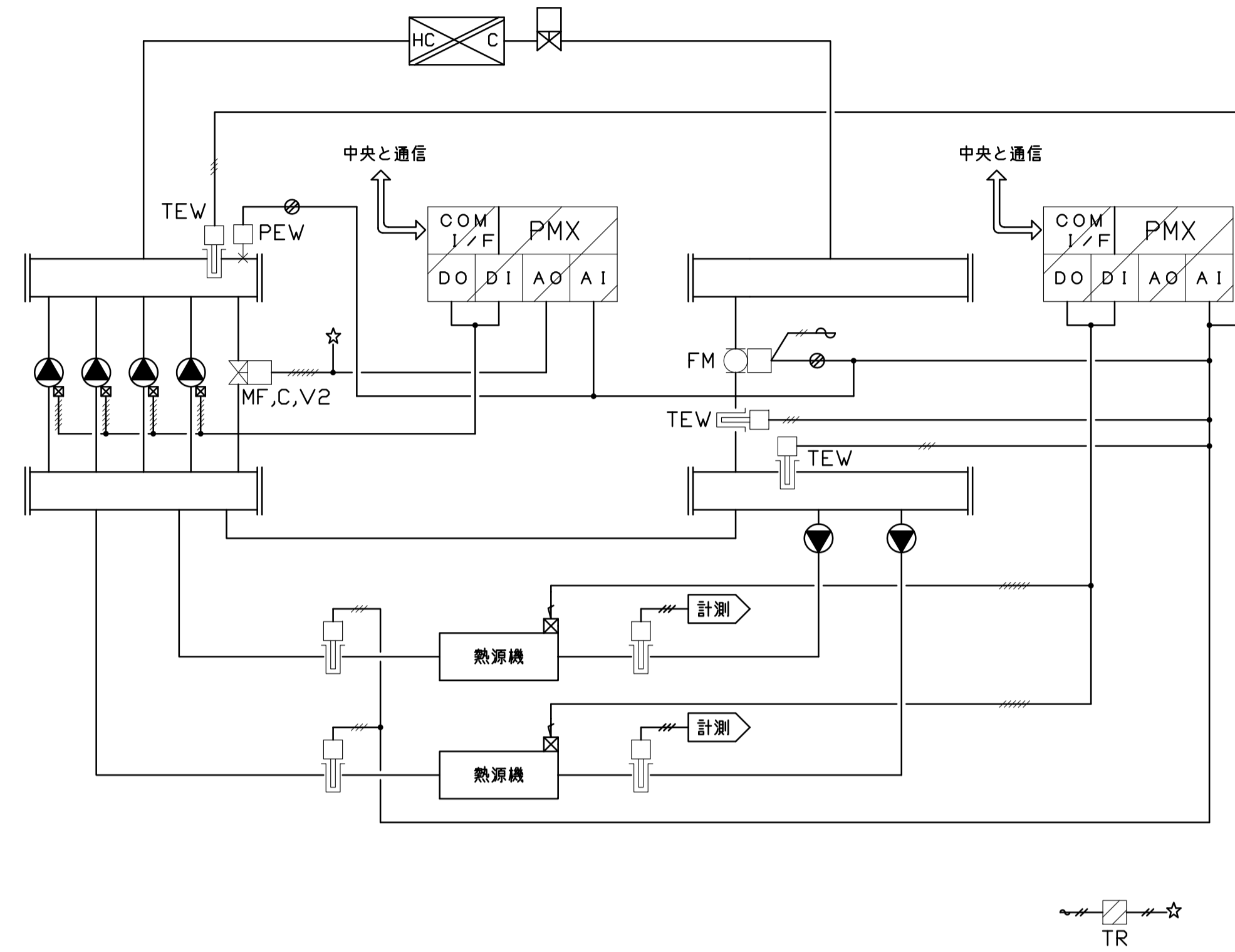


- 制御項目
1. 差圧によるバイパス制御
  2. 負荷流量による熱源台数制御
  3. HEX制御
    - ・送水側出口温度制御
    - ・停電時の遮断動作
  4. 中央監視システムとの通信 (発停・監視・設定・計測)

TR ☆  
空気源装置より (1.2~4.0KgF/cm<sup>2</sup>)

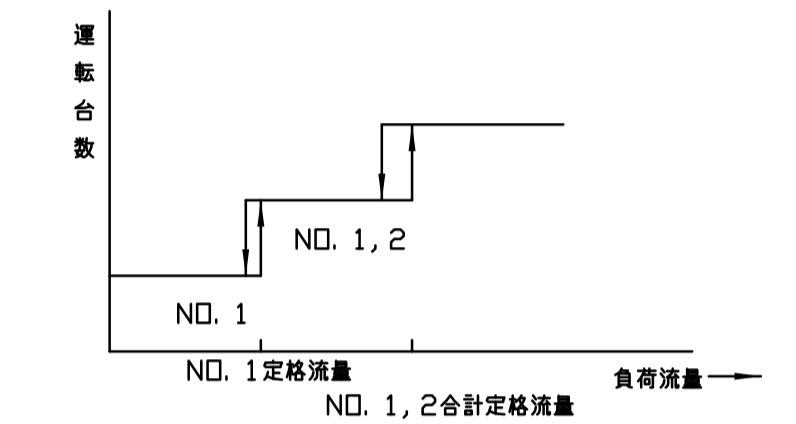


制御項目

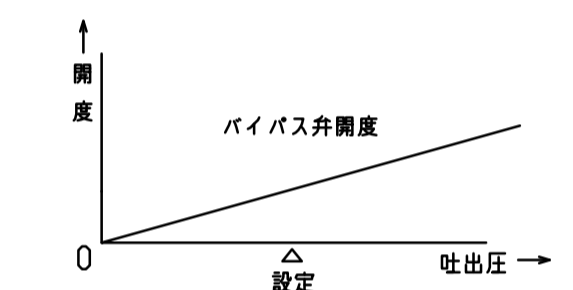
1. 熱源機台数制御
  - ・熱量による台数制御
  - 負荷熱量により熱源機の必要台数を演算し、下図のように発停制御を行う。又、熱源機の自動ローテーションを行う。
  - 故障機については台数制御対象から除外するものとする。



2. 2次ポンプ台数制御
  - 負荷流量により2次ポンプ必要台数を演算し、下図のように発停制御を行う。又、ベースポンプの自動ローテーションを行う。
  - 故障機については台数制御対象から除外するものとする。

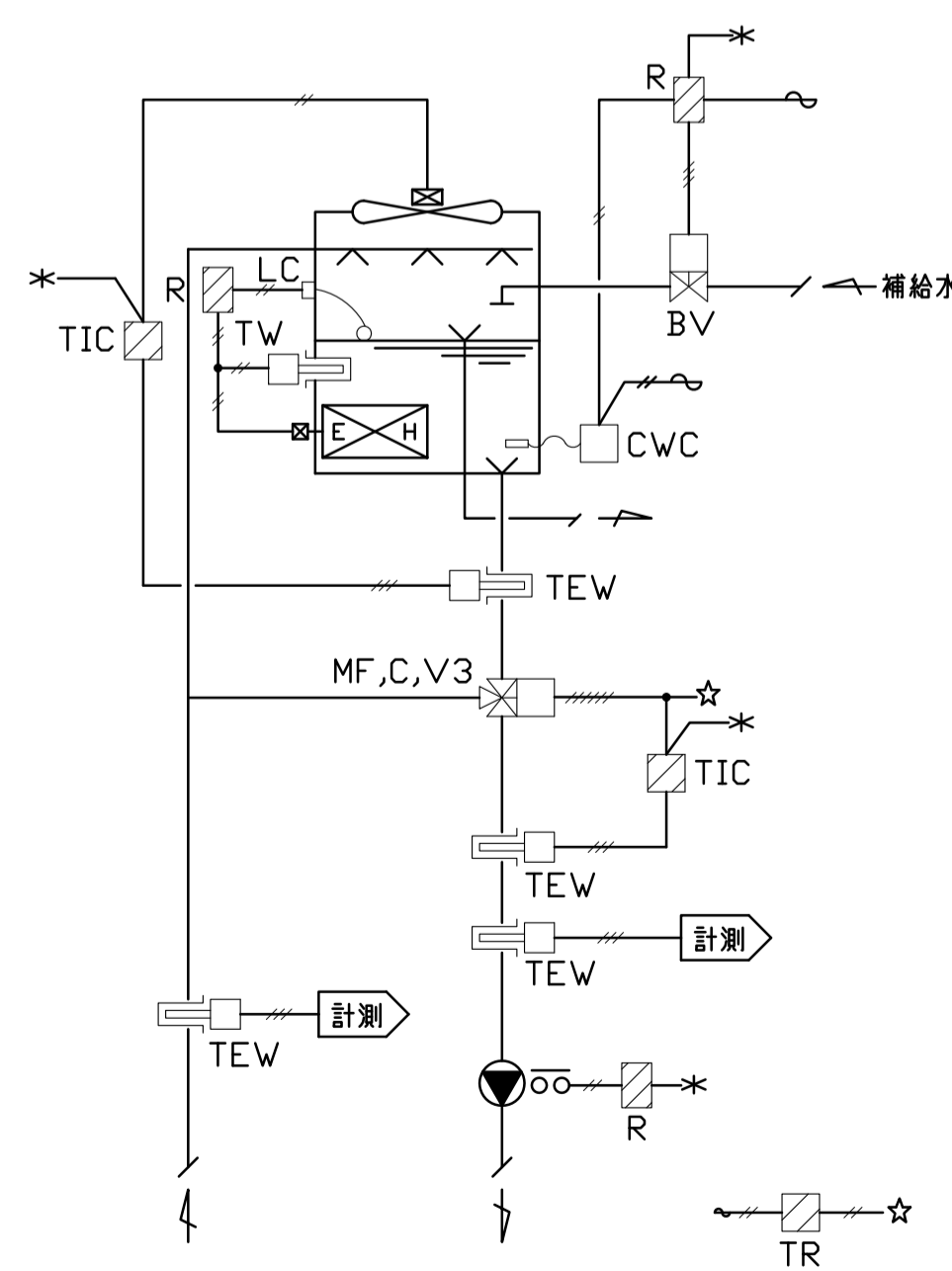


3. 送水圧力制御
  - 吐出圧により、下図のようにポンプバイパス弁の比例制御を行う。



4. 中央監視システムとの通信 (発停・監視・設定・計測)

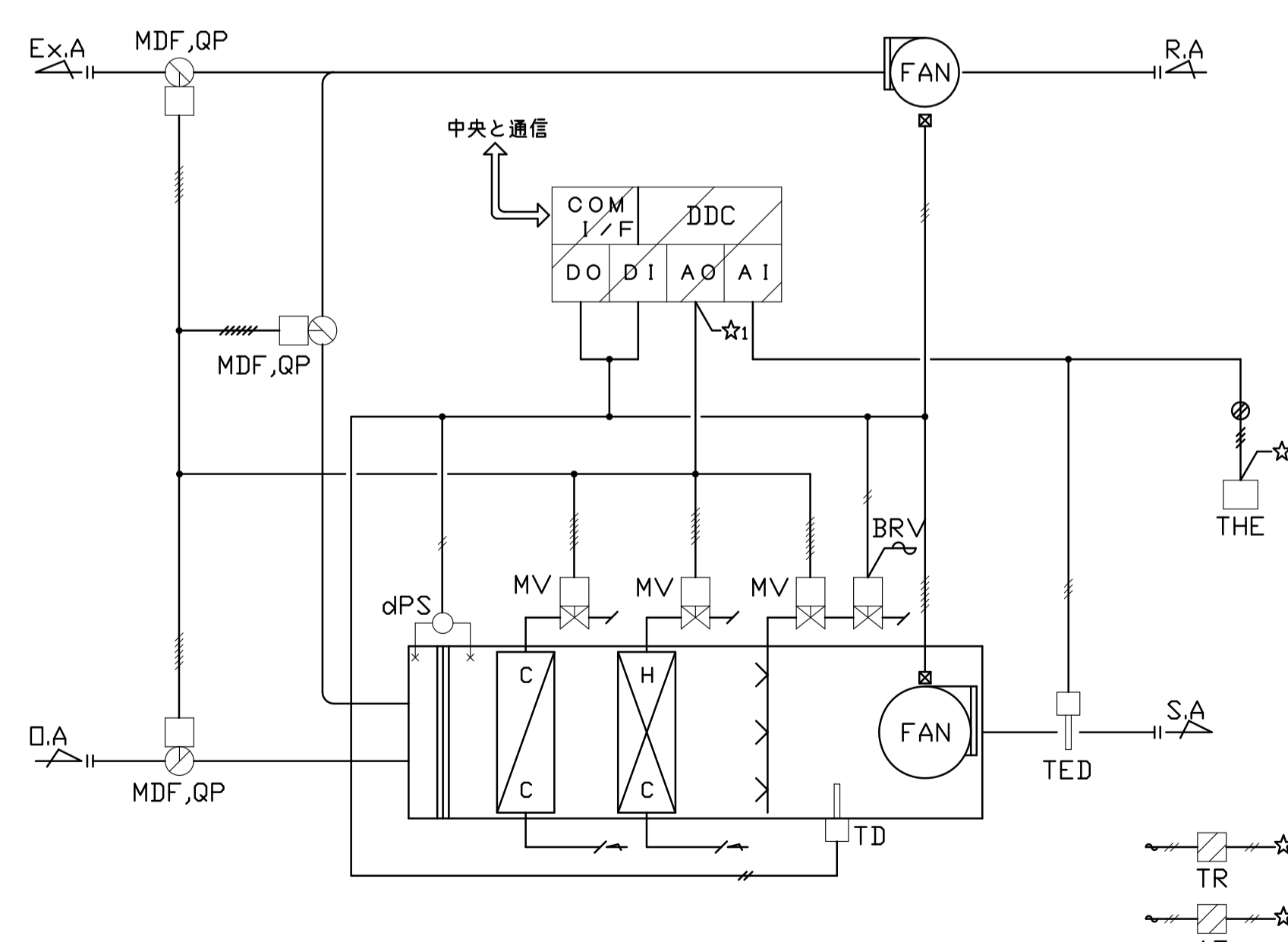
(注1) 熱源機と1次ポンプ、冷却水ポンプ及び、冷却塔ファンの連動配線並びに、インターロック渡り配線工事は本工事とする。  
(注2) 連動シーケンス回路は熱源機の機内回路及び、動力盤内回路を使用する。



制御項目

1. 冷却塔ファン発停制御
  - 冷却水往温度により、冷却塔ファンのON/OFF制御を行う。(段)
2. 冷却水3方弁制御
  - 冷却水往温度が一定温度となるよう3方弁の比例制御を行う。
3. 凍結防止及び、空焚き防止制御
  - 冷却水が凍結しないように冷却水温度により、電気ヒータのON/OFF制御を行う。
  - また、レベルスイッチにより、空焚き防止の制御を行う。
4. 冷却水水量制御
  - 冷却水の導電率により、補給水バルブのON/OFF制御を行い、冷却水の強制ブローを行う。

バルブ: OPN  
設定 導電率



制御項目

1. 室内温度制御
  - 室内温度により冷水弁、温水弁、外気ダンバの比例制御を行う。
2. 室内湿度制御 (加湿, 除湿)
  - (加湿) 室内湿度により加湿弁の比例制御を行う。給気温度により低温時の加湿禁止を行う。
  - (除湿) 室内湿度により冷水弁の比例制御及び、室内温度による再熱制御を行う。
3. 給気温度リミット制御
  - 結露及びドRAFT防止を目的として給気温度が上下限値を越えないように制御を行う。
4. ウォーミングアップ制御
  - 立ち上がり時、外気・排気ダンバを閉、還気ダンバを開とし予冷/予熱を行う。又、加湿は禁止とする。
5. 空調機停止時のインターロック制御
  - (対象: ダンバ/2方弁/加湿弁)
6. 外気冷房制御
  - 外気取入有効時、室内温度によりダンバの比例制御を行う。
7. 加湿弁異常警報
  - 空調機停止時、空調機内温度により加湿弁異常を検出する。
8. 中央監視システムとの通信 (発停・設定・計測・監視)

概要	設計年月日	変更年月日	承認	設計	製図	工事名称	図面番号
Y1194-2(DHC受入2次御熱源制御 他)						研究・学園都市 35、36街区建設工事	
						図面名	縮尺